

市民の皆さんから寄せられた質問を市長直撃インタビュー

いがらし市長に質問してみました。



46歳

つくば市長 いがらし立青

最近市内に配布されているチラシや、インターネット上の動画には、残念ながらとても多くの事実とちがう誤った内容が、あたかも事実かのように記載されています。静観することも考えましたが、事実を歪めた内容が流布されることは市民の政治不信をいたずらに助長させてしまうと考え、いただくことがあるご質問にお答えします。あわせて、県立高校の定員不足についてもお答えします。私はこれまで通り、市民のみなさんを全面的に信頼し、つくばの未来と具体的な政策についての対話を続けていきます。

QUESTION

五十嵐市長になってから人件費が30%も増えたって書いてあるけど本当？

ANSWER

事実ではありません。

実質的な伸びは約 4.4%です。そもそも、R1年度まで臨時職員の賃金は「物件費」という項目に入れるルールでしたが、国の制度が改正されR2年度から人件費（会計年度任用職員）に入れるルールとなったため、見かけ上の人件費が一気に増加しています。それでも、直近7年間（H28～R4）の人件費の増加率はチラシに記載されている3割などではなく、20.8%です。さらに、全体の支出に対する人件費の割合は、就任時の19.6%から、R4年度で16.7%と下がっています。税収を伸ばしながら、職員一人ひとりが活躍し、数多くの事業を行っています。



つくば市長 いがらし立青

QUESTION

つくば市役所は係長以上の管理職が50%以上も居て管理ができてないって本当？土浦市の30%と比べてすごく多いって書いてあるけど。

ANSWER

事実ではありません。

つくば市の管理職は課長補佐以上と規則で定めており、管理職の割合は26.1%です。なお、土浦市の管理職は係長級以上で、その割合は36.6%です。



つくば市長 いがらし立青

QUESTION

水道料金の値上げをしないと約束したのにそれを破って値上げをしたの？

ANSWER

事実ではありません。

1期目の公約の82項目に水道料金については入っていません。1期目就任の記者会見で、前市長時代に出されていた38%の値上げ案があまりに市民の負担増につながるため精査することを約束しました。精査の結果、値上げ幅を21%にまで抑えました。その際の値上げは全会一致で可決されています。このことで、これまで上水道の整備計画がなかった地区でも、整備計画を立てて、着実な整備を進めることができています。現在は県内44市町村中で2番目に安い水道料金であり、老朽化した管路の更新などに費用も掛かるため平均15%の値上げを行いますが、それでも県内で10番目に安い金額に抑えます。負担をできるだけ抑えながら、濁った水が出ることも多い簡易水道に苦勞する地域の状況を少しでも早く改善していきます。



つくば市長 いがらし立青

QUESTION

洞峰公園の維持管理費は50億円も掛かるの？

ANSWER

事実ではありません。

50億円という数字は一部の議員が議場で発言した独自の数字であり、市の試算では年間3,500万円です。この数字は、実際に市が、県と現在の維持管理業者とともに現在の施設の状況をすべて立会で検査した上での数字です。なお、県は、無償譲渡前にすでに老朽化が著しい施設については改修工事を行ってくれています。



つくば市長 いがらし立青

QUESTION

不透明な政治資金をもらってるの？

ANSWER

事実ではありません。

いただくご寄付等については毎年、すべての金額を政治資金の報告書に記載し、基準に従ってお名前もすべて記載しています。また、支出についても同様に何に使ったかをすべて記載し公表しています。現在の国会の裏金問題のように、受け取っていないながらそれを報告書に不記載にして、支出先も隠すようなことが行われていることと真逆の、完全にすべてを公開し透明に行っています。



つくば市長 いがらし立青

QUESTION

特定の支持者に便宜をはかっているの？

ANSWER

事実ではありません。

物流業界や不動産業界との利権で、高工ネ研南側未利用地の売却をしたような記述がされていますが、事実無根です。売却は、土地購入を希望する企業の公募をし、提案内容を全員市役所ではなく外部委員による委員会でも公正に審査し決定しています。便宜を図る余地はまったくありません。また、入札全体も改革を行い、透明公正にしました。以前のつくばのように、市長選挙で応援した特定業者のみが仕事を取る、ということはありませんでした。つくばの長年の悪習をあらため、完全に公平な市役所になったことを示しています。



つくば市長 いがらし立青

いがらし立青のホームページにて

manifestoを閲覧いただけます



いがらし市長に質問してみました。

QUESTION

つくば市の財政再建が課題なの？
将来負担比率がR4年度からR5年度で
4倍になったと言っているのを聞いたけど？

ANSWER

事実ではありません。

つくば市の将来負担比率は減少傾向です。R2は49%、R3は31%、R4は7%、R5が29%です。R4が大きく改善したのは、高工ネ研南側未利用地の売却が成功し、つくば市土地開発公社に貸し付けた約68.5億円の償還があったためです。つまり、一時的かつ劇的に改善した年から通常に戻った数値を切り取って悪化しているように主張されている方がいらっしやるだけで、財政は健全です。そもそも、この指標で財政健全化が必要とされる国の上限値は350%です。つくばの数字はその基準を遥かに下回っていて、健全な状態です。一部分だけを切り取って「財政健全化が課題」という指摘をすることは政局的な動きと考えられますが、仮に本気でそのような考えているのであれば、残念ながら財政分析のイロハである、傾向を捉えることができていないということになります。

つくば市長
いがらし立青



QUESTION

県立高校が足りない問題は？
市立高校って作れないの？

Q&A

ANSWER

**すぐに実現できる定員増の
解決策を提案しています**

定員不足の有効な解決策として、既存の県立高校の校舎増築分の費用を市で負担する提案をすでに県に行っています。

例えば竹園高校を1学年で2学級なら80名分、3学年分6教室の建設費をつくば市で持つという内容です。これなら最低数年掛かる高校新設と比べてすぐに拡大でき、新設なら60億円はくだらない予算も4~5億円で済みますし、人口減少期が来てですでにつくば市で行っているように地域開放して利用できます。

つくば市ではこの2年間だけでも5つの小中学校を開校し、2年後に開校予定の小学校を入れれば210億円ほど掛けています。市立高校をという声もありますが、市長として市役所内部を見渡せば、本来業務に全くない高校に手をつける余力は残念ながら人的にも財政的にもありません。今やるべきことは、表面的なインパクトを持つ市立高校の動きではなく、地元選出県議と密な調整のもとで、県との連携を深めて早急に定員増を実現する手段に注力することと考えています。

つくば市長
いがらし立青

近隣の自治体と緊密に連携しています

わたしたちもいがらし市長を応援しています



下妻市
菊池 博 市長

つくば市とバスの乗り入れについて相談をする際にも、五十嵐市長はすぐに柔軟な対応をしてくれました。おかげさまで下妻市への乗り入れが始まりました。周辺の自治体と丁寧に調整をしながら物事が進められる地域のリーダーとして頼りにしています。



常総市
神達 岳志 市長

常総市の道の駅につくばからバスを乗り入れる提案をすると五十嵐市長は即座に動いてくれ、両市の市民にとってメリットのあるコースになりました。どんどん一緒に取り組んで行きたいと思っています。



つくばみらい市
小田川 浩 市長

コロナ対策や農業の豪雨被害の対策など、隣同士だからこそ多くの案件を共有し、共通の施策を打ち出すこともあります。つくばエクスプレス沿線自治体として、五十嵐市長とこれからも連携を深めていきます。



石岡市
谷島 洋司 市長

筑波山地域ジオパークでは、五十嵐市長が6市のまとめ役としてリードしてくれています。両市にまたがる筑波山を軸にして、今後も一緒に地域全体を盛り上げたいと思います。



土浦市
安藤 真理子 市長

土浦・つくばの境界のスマートインター設置にあたり迅速かつ丁寧に調整していただきこの度正式決定しました。これからは五十嵐市長とともに県南を盛り上げていきたいと思っています。



牛久市
沼田 和利 市長

公共交通のドライバー不足を解決するモデルを、五十嵐市長のリーダーシップと一緒に作ることにしました。牛久市とつくば市は、牛久駅へのつくばバスの乗り入れなど、多くの事業を連携しているので、五十嵐市長とさらに深めていきます。

つくばが元気になっています!

- G1の「新世代リーダー・アワード」にて、その年最も活躍した若手政治家に贈られる政治部門受賞(19年度)
- **人口増加率日本一**(23年)
- **人口増加数一般市で2年連続日本一**(22、23年)
- 公約のロードマップと実現力が評価され**マニフェスト大賞優秀賞を2回受賞**(1期目は82項目で進捗率90.4%、2期目は135項目に増やし現在86.1%)
- 世界で約70人のみの市長や知事が選ばれる**OECD(経済協力開発機構)チャンピオンメイヤー選出**
- 3男1女の父として、**ベストファーザー賞(政治部門)受賞**、料理も家事も全力です



ベストファーザー賞(政治部門)受賞
落語家の桂宮治さんたちと一緒に



多くの国際会議に招待され登壇、議論をリード

いがらし立青のプロフィール

- 1978年 つくば市(桜村)生まれ
- 1997年 並木小学校、並木中学校、土浦第一高等学校卒業
- 2002年 筑波大学国際総合学類卒業
- 2003年 ロンドン大学 UCL 公共政策研究所修士課程修了 研究助手兼務
- 2004年 つくば市議(1期目)
- 2007年 筑波大学大学院 人文社会科学研究科修了 博士(国際政治経済学)
- 2008年 いがらしコーチングオフィス設立
つくば市議(2期目)
- 2010年 NPO法人つくばアグリチャレンジ設立
障害のあるスタッフが働く農場
「ごきげんファーム」を経営(2016年代表退任)
- 2016年 つくば市長(1期目)
- 2020年 つくば市長(2期目)

いがらし立青の活動はSNSでも発信中!



[発行元] いがらし立青後援会 青風会

〒305-0854 茨城県つくば市上横場2255
(元アッセ敷地内バーガーキング跡)

TEL:029-896-9811/FAX:029-896-9812

E-mail info@igarashitatsuo.com

討議資料